

10
2019

BAT POST



立石良典社長



立石克昭会長

福山支部 9月支部例会
『For The Future 未来へ』



県スローガン

激変の時代だからこそ
全社一丸の高付加価値企業へ
～学んで語って即実践！～

福山支部スローガン

激変の時代だからこそ
全社一丸の高付加価値企業へ
～日々前進 日々進化 Let's Change～

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

広島県中小企業家同友会 福山支部報

発行責任者 広報委員長 坂本 修二郎

〒720-0066 福山市三之丸町8-16
福山ニューキャッスルホテル B1F
TEL 084-923-0286 FAX 084-923-0284
URL <http://www.hiroshima.doyu.jp>
e-mail fukuyama@hiroshima.doyu.jp



Contents

福山支部9月支部例会	P02
地区会だより	P04
部会だより	P10
委員会だより	P11
有志の会・入会しました	P13
福大インターンシップ・士が斬る！	P14
支部理事会報告	P15
行事案内	P16

社員教育活動全国研修・交流会

社員と共に、人間らしく生きる 今、中小企業に求められる教育力とは何か

- 日時 11月28日(木)・29日(金)
- 会場 ANAクラウンプラザホテル岡山
- 会費 20,000円



〈福山支部 9 月支部例会〉

「For The Future 未来へ」

事業承継 私たちは何を渡し、何を受け継ぐのか

報告者 (株)タテシ広美社 代表取締役会長 立石克昭 氏 (代表理事)

(株)タテシ広美社 代表取締役社長 立石良典 氏 (尾道支部)

去る 9 月 11 日に、福山支部の 9 月支部例会を開催し、オブザーバーを含め 86 名が参加しました。

2 名。島田正美社会保険労務士事務所の島田正美氏を座長に、パネルディスカッション形式で報告いただきました。

報告者は、(株)タテシ広美社の創業者である代表取締役会長の立石克昭氏と、後継者である代表取締役社長の立石良典氏の

創業者と後継者である 2 人は、事業承継にあたって何を渡し、何を受け継ぎ、どのような時代を作っていくのか。同友会



報告者の立石良典社長

型企業の視点で事業承継に取り組んだ実践報告から、事業承継の大切さについて多くの気づきを得る支部例会となりました。

今月号では代表して 3 名の方の感想を掲載します。

事業承継にはまず
魅力ある企業づくり

9 月度の支部例会では、(株)タテシ広美社の立石克昭会長と会長の娘婿である立石良典社長によるパネルディスカッション形式で行われました。内容は事業承継にあたっての取り組み方でした。事業承継が叫ばれる昨今、経営者の年齢のピークが 1995 年の 47 歳であったのに対し、2015 年では 66 歳となっており、経営者の高齢化が進んできていると言われています。そんな中、「後継者不在」に対して M&A という選択肢も挙げられているのが現状です。

(株)タテシ広美社ではどのような取り組みが行われていたのでしょうか？

お話の中で私が感じたのは、まずは「魅力のある会社づくり」だと思います。創業当初は看板業という業務内容でしたが、看

板業というのでは皆が魅力を感じないということで、もっと大きな領域への転換を考えられ、情報伝達業への転身をされました。そして様々な苦難はあったけれども、まず「仕事を楽しくむ」また「社員の幸せ」という考え方が社員さんにも伝わっているからこそ、娘婿である良典社長が会社の雰囲気等を肌で感じた結果、事業承継する決意に至ったのではないかと思います。なにより、良典社長自身がワクワクする会社であったのではないのでしょうか。社員の幸せという言葉の中に、生涯賃金

が 2.5 億円といわれている中、20 名社員が増加すると単純計算で 2.5 億円 × 20 名 = 50 億円の投資になる。だからこそ、リスクを抱えてでも社員さんと共に歩もうというお話をされていた。計算はさておき、このように社員さんの幸せを考える環境を見せることが事業承継に必要な要素の一つであると感じました。

将来については如何にして地域を活性化するかが課題と仰っており、内需より外需を重視し、市場の奪い合いではなく新しい価値を見出すことにより仕事の幅を広げ社員さんに還元していきたいとも仰っていました。立石

克昭会長が経営理念の下、ふれずに礎を築き、努力した結果が、立石良典社長が継承するにいたったのではないかと感じる事ができる支部例会でした。



(株)けん Navi
佐久間淳 (J)



事業承継の時代

中小企業庁の調査では、中小

企業の経営者の年齢の分布を見ると、最も多い経営者の年齢は1995年に47歳だったが、2018年には69歳となっており、我が国の企業の経営の担い手（会社役員、個人事業主）については、高齢化が進み、2017年時点で、60歳以上が59歳以下を上回っています。冒頭、座長を務める島田氏より、「事業承継にかかる期間は、およそ10年を要する。」という説

が紹介されました。「後継者選別に3年」「後継者育成に3年」「承継後の見守りに3年」あわせておよそ10年です。つまり、経営者年齢からみて、半数以上の中小企業で事業承継が必要になっている時代に我々は住んでいる、ということなのです。

そのような時代の中で、(株)タテシ広美社では、どのように事業承継を進めてきたか、という報告を聞きました。

立石会長が、約10年前に長女の彼氏として良典さんと出会った。（このとき承継を意識する）



報告者の立石克昭会長

2013年に、良典さんが入社。2017年、娘婿の立石良典さんが社長に就任しました。（参照…ひろしま未来チャレンジビジョン事業承継事例集）大企業の第一線で活躍していた良典さんを立石会長

がヘッドハンティングした形です。立石会長は、初めて会った時から、良典さんの経営者としての資質を見出し、心に決めていたそうですが、良典さんの中では、大企業から中小企業へ転職することへの迷いがあつたそうです。では、何が良典さんを決断させたのでしょうか。

私を感じたのは、「経営が楽しい」と本当に楽しそうに語る立石会長の生きざま、在り様が決め手だ、ということでした。この日は、会長の奥様、社長の奥様もテーブルに参加しておられました。例会が進むにつれて、立石家の幸せオーラが会場を包みこみ、ローズコンの会議室がまるで披露宴会場のよう祝福に満ちた雰囲気になりました。

「中小企業の事業承継は、愛情が一番、知識やテクニクは二の次だ」ということを、私は今回の報告の学びとしました。



(南)池永経営会計事務所

田中秀穂(K)

想いの共有

9月の支部例会では(株)タテシ広美社の立石会長、社長によ

る「事業承継」をテーマとした例会が行われました。

私自身、父親から事業を継承した立場ではありませんが、次の代へ引き継いでもらう準備としては考えた事もなく、まだまだ遠い先の事だし、その時になったら何とかなるだろうぐらいにしか考えていませんでした。しかし、お二人の報告の中から感じるお互いの信頼関係は決して一朝一夕で出来るものではなく、事業を継承するにはしっかりとした準備と想いの共有が必要だと感じました。そして事業承継は継ぐ者と継がせる者の2人だけの問題ではありません。そこにはその会社で働いてくれる社員がおり、社員の想いとその家族の生活も守っていく義務があります。そうした想いを漏れなく伝えていく為に経営理念が必要であり、理念と基にした経営指針が必要不可欠だと感じました。

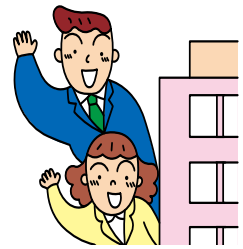
立石会長が仰られた事業承継を計画的に行っていく為には、継ぐ者、継がせる者、そしてそれに関わる社員達の信頼関係が重要であり、それを築いていく為には理念の共有とそれを具現化していく経営者の姿勢、そして何より経営者自身が誰よりも一番仕事を楽しむ事が必要だと



三和綜合印刷(株) 近江弘至(P)



地区会だより



A地区会

姿勢確立への第2歩

■日時…9月20日(金)

■会場…市民参画センター

■報告者…平和建設(株) 岡田一真氏

■参加者数…17名



報告者の岡田氏

(金) A地区9月例会は9月20日
に市民参画センターにて

平和建設(株)常務取締役の岡田一真氏を報告者に「岡田一真 姿勢確立への第2歩」と題して発表して頂きました。

高校卒業後他社へ就職し充実した毎日を過ごしていた岡田氏、父親からの一言で一念発起して平和建設へ入りますが、最初のやる気はどこへやら、対人関係等うまくいかず、徐々にやる気を失ってしまいます。そんな時ふとした事で同友会の行事に参加し、その縁で青年部へと入会し周りの青年経営者に刺激され、うまくいかなかった責任は自分にあると気付きます。

それからは、同友会でも社内でも積極的に動いて、社員さんにも積極的に意見交換を試みて、徐々に社員さんの考えを言ってもらえるようになってきた、そんな現状だそうです。

良くも悪くもまだまだ若い岡田氏の実直な人柄が滲み出る発表でした。

その後は各グループに分かれ、「建設的な意見が出る建設屋になるためには」というテーマで岡田氏にフィードバックする為のグループ討論をしました。

こういう場合、どうしても今の自分の年齢と立場でアドバイスしてしまいがちですが、それ



と同じことを27歳の岡田氏にやれと言っても難しい事。

なので、参加者自身が27歳の時がどうだったか、その27歳の自分が平和建設の常務だったらどう社員の意見を引き出すか、と考えながらのグループ討論となりました

まだまだ若く伸びしろの大きい岡田氏が百戦錬磨の強者揃いのA地区会員から受けたアドバイスを元にどこまで成長出来るか、これからの岡田氏に乞うご期待な例会となりました。



福山富士自動車(株) 畑 光郎(A)

B地区会

良い経営者になるために、
新たな一歩を踏み出す

■日時…9月18日(水)

■会場…ローズコム

■報告者…昌和産業(有) 渡邊将弘氏

■参加者数…43名

この度のB地区9月例会は、「社員の皆がもつと働きやすい職場環境になるように、もつと利益の出る仕組みを作れるように」を目標に掲げ、自己変革の経緯、そしてこれからの決意表



報告者の渡邊氏

明を発表して頂きました。

渡邊氏は大学を卒業後、1998年に昌和産業(有)に入社しました。入社当時は、ほとんどの社員が50〜60代で会話に非常に困ったそうです。3年間バリ取り作業だけをやり、父である社長は渡邊氏には特に厳しくスパルタ教育でした。今となつては、良い経験が出来たと感じているが、当時は仕事が嫌いで働くことの意味もわからなくなり、自社の事が嫌いになっていたそうです。

2006年に初めて自分の名刺を作り、それまでは自分の居場所が現場だけだったのに、事務所に自分の机が出来た事は、とても嬉しかったそうです。やつぱりご褒美は必要ですね。

社内改革を全くする気なかった渡邊氏ですが、例会で発表する事が決まってからは行動が早かったです。まず社員全員に自社の良いところ悪いところをヒアリングしました。良いところは、残業がない、休んでも給料が変わらない、休事中、自由に入りが出来る、社員同士での協力体制が出来ている、自分のペースで作業を進められる等でした。悪いところは、社員の高齢化、規則がない、有給がない等でした。



こうした社内状況で、しっかりと利益をだしている事は凄くと思います。グループ討論時、多くの人が改革の必要はないのではという意見がありました。しかし渡邊氏は、よりよい会社作りの為に、就業規則の見直し、作業効率を上げる為に無駄な作業を減らし、社員同士のコミュニケーション強化に取り組んでいます。

渡邊氏自身、対人関係の事を人のせいにする癖があるそうです。だけど、これからは逃げずに自分を変える事で良い方向に向かう様頑張っていくそうです。

最後に、会社も自分も現状に満足せず、問題を自ら探す事で成長していきたいと決意表明されました。私自身も現状に甘えていた事が多く、見つめ直す良いきっかけになりました。ありがとうございました。



(有)城南精螺工作所 朝倉功亮(B)

D地区会

社員が自発的に動く組織づくり

■日時…9月18日(水)

■会場…Rim福山

■報告者…(株)イアック 内海陽平氏

■参加者数…30名

D地区9月例会は、Rim福山にて行われました。「社員が自発的に動く組織作りをする為に!!!ブレストを用い意見の深掘りをしよう」をテーマに(株)イアック代表取締役社長の内海陽平氏を報告者に、自社の問題点や会社の現状などを基に、今後の考え方や取り組み方など、

経験やビジョンを元に話を聞くことが出来ました。内海氏は先代から2011年に事業承継のバトンの引き継ぎをされ、その後信じていた幹部候補や後任者が退社。従業員との人間関係、いわゆる『人の問題』をテーマに講義をして頂きました。

後半は【ブレインストーミング】を活用し、今回のテーマである「自発的な社員を育てる組織作り」をグループ毎にディスカッションして頂きました。

【ブレインストーミング】とは、言葉で聞くと難しいですが、質より量を重視し、自由な発想と発言でアイデアを出し合っていく、アイデアを批判してはいけない、といった感じです。アイデアを出し合ったあと、その



報告者の内海氏



アイデアを【仕組み作り】【労働環境改善】【働きがい】【コミュニケーション】【会社の方角】【信頼関係】【教育】の7つのカテゴリーに仕訳し、多かつたカテゴリーを深掘りしディスカッションします。面白い事に、各グループごとにアイデアの集約が違い、正に考え方と価値観の違いが顕著に出てきます。自分自身やってみて感じた事です、これをやる事により、自分自身が整理でき、頭がクリアになると感じました。また、このブレインストーミングを社内で行えば「この人がこんなこというなんて!」って盛り上がった

ら、おもしろいですね!明日から実践できそうなアイデアや個人の考え方、また批判を恐れず自由な発想と発言は、時代性に添い、今後の会議に大いに活用できるツールになると感じました。



(有)Viewthair 松田勝志(D)

E地区会

アンガーマネジメント講座

■日時…9月18日(水)

■会場…Rim福山

■報告者…Msupport

前田明子氏

■参加者数…46名

E地区9月例会は18日にRim福山9階スカイホールにて46名の参加でE地区G地区合同で行いました。

講師にG地区のMsupportの前田明子氏をお迎えして、テーマを「離職者が減る?!」経営者の為のアンガーマネジメント講座」として、アンガーマネジメントの講義をして頂きました。アンガーマネジメントという言葉は耳にしたこと

はありましたが、具体的な内容はよく知らなかったので興味があり、参加させていただきまし
た。まず、怒りの種類・大きさ・原因から「衝動のコントロール」「思考のコントロール」「行動のコントロール」の3つの暗号をテーマに怒りをどのようにコントロールすればいいかをお話されました。



報告者の前田氏



参加者全員で集合写真

ないG地区の方とも積極的に意見交換ができたと思います。
怒りの正体とは、こうあるべきだと思っていることと違う出来事が起こったときにおきる感情で理想と現実のギャップが大きいほど怒りの感情は大きくなる。その感情をコントロールして許せる範囲を広くする事で怒りの感情を断ち切る事ができるという事をまなびました。
最後に経営者にとつて必要な叱り方、伝え方という話の中で、私も普段の仕事の中に社員や物にあたり職場の雰囲気悪くする

こともあるので、経営者として常に穏やかな感情でいるように今回の例会で学んだ感情のコントロールを実践して、社内でも取引先の方ともコミュニケーションの向上に努めたいと思います。
今回の例会を受けて、自社でも前田さんにアンガーマネジメントの講座をしてもらいたいという声もあり、とても良い例会になったと思います。講師の前田さんありがとうございました。

榎サトウデンキ 佐藤公彦(E)



F地区会

知らない！怖い！働き方改革

- 日時…9月18日(水)
- 会場…Rim福山
- 報告者…吉田労務事務所 吉田健一氏
- 参加者数…32名

F地区の9月例会は「知らない！怖い！働き方改革」と言うテーマで、吉田労務事務所の吉田健一先生のお話を聞きまし



報告者の吉田氏

た。2019年4月からの働き方改革での内容と、法律で決まったことや、違反した場合の罰則など、率直に言うところ知らなかったことが多く、そのためにこれから会社が負うリスクについて詳しく教えていただきました。

有給休暇の労使協定、副業した場合の残業の算出、正社員とパートに差をつけない手当てなど、多くのことをクリアしないと雇用主としてのリスクが付いてくると言う、誰のための改革なのかを改めて考えました。

参加者の皆さんの会社の、正社員とパートさんに差をつけないような手当ての付け方など、一通り聞きましたが、参加者からは大企業向けの法案に中小企業を当てはめるのはかなり無理

が有るという意見も出ました。そもそも大企業のブラックな部分を改革するために出来た法案のはずですが、この法案後に大企業は退職金制度そのものを廃止したりしているとも聞きました。

グループ討論では「自社の現状把握と、その対策について」と言うテーマで話し合い、自社の現状を話し合いました。私たちは中小企業ならではのやり方で、社員さんやパートさんたちと、「同一労働同一賃金ガイドライン」の概要にあるように、働き方を話し合い、お互いに幸せになれる雇用体系をめざし、変化に対応しなくてはならないと改めて思う例会でした。



(有)三吉銀金塗装工業 三吉英紀(F)



G地区会

離職者が減る！？
アンガーマネジメント

■日時…9月18日(水)

■会場…Rim福山

■講師…Msupport 前田明子 氏

■参加者数…46名

9月度はG地区とE地区の合同例会をRim福山にて行いました。

「離職者が減る！？」経営者のためのアンガーマネジメント講座」のテーマでMsupport代表の前田明子氏による講師例会でした。前田氏は社会人マナー研修、アンガーマネジメント研修等、中小企業の研修ニーズにお応えし活躍されています。

この所、有効求人倍率が高止まりしている様子ですが中小企業には厳しい現状があるようです。人材確保が難しい中、離職を少なくするという観点からアンガーマネジメントという、怒りをコントロールするコミュニケーション方法を勉強しまし



報告者の前田氏

た。

怒ることのデメリット・メリットからお話は始まりました。デメリットは感情的になる事がある、本筋から逸れる、メリットは自分の考えを知ってもらえるなど。アンガーは怒り、マネジメントは後悔しない、合わせる、「怒って後悔しない」という意味合いがあり、決して「怒らない」ことではなく、怒る必要のある時は上手に怒り、必要のない時は怒らないようにすることです。つまり、自分の思考をコントロールしルールをもつて怒るということです。怒りのメカニズムを知ること、自分の怒りを比較的、客観的に見ることができます。また、相手に伝えたいことは「感覚」ではなく「言葉で」具体的に伝えることが大切と話されました。会の中で12の質問に答える事



で自分の怒りのタイプを知る事ができたり、4つの怒り方で自己診断をしたりしました。同じグループのE地区の方ともお互いの結果をオープンにし、笑いが起こるほど盛り上がるグループもあり、楽しく交流する事が出来ました。

私はアンガーマネジメントという言葉を初めて耳にしました。怒りにもメカニズムがあり、人と人が関わるには怒りをコントロールすることさえ必要で、重要だということを再認識しました。従業員との関わりだけでなく、取引先、お客様、家族、友人等とのコミュニケーション

のとり方を振り返る良いきっかけとなりました。
講師をして頂いた前田さん、解かりやすく丁寧なお話をありがとうございました。



(南)大松模型店 植田吉彦(G)

I地区会

みんなでP地区訪問

■日時…9月19日(木)

■場所…ローズコム

■報告者…(南)ウイング 眞田好洋 氏

■参加者…4名

9月19日のP地区例会に、I地区4名で訪問させて頂きました。また、9月3日の打ち合わせにも参加させて頂きました。

発表までに4回も打ち合わせがあることにまず驚き



報告者の眞田氏

ましたが、その完成度の高さに感嘆致しました。打ち合わせでは、資料を見ながらの発表でしたが、本番ではパワーポイントとプロジェクトを使つた方がより集中して聴いて頂けるだろうとの事でした。

体験発表前に、自社のPRタイムがありました。I地区にも是非取り入れたいものです。

眞田氏は、現在羽原憲一税理士事務所に在籍し、3年後に事業承継の予定でこの度の発表の為にと羽原先生の経営理念を拝聴する機会を得ました。まさに「体験発表者が持ち帰りが一番大きい」の一言です。

発表後のアンケート記入は、①現在の税理士さんへの不満、②満足に思っている事、③税理士に希望することでした。このアンケートもI地区で実施した

いものです。

討論テーマ「あなたの想いを会社経営にどう活かしていこうと思いますか？」は、私にはとても難しく頭を抱えてしまいました。

眞田氏が先輩からお祝いに頂いたという赤い名刺入れが素敵だったので、写真を撮りました。二次会の「ちょうけい次兄」でも楽しく話が弾みました。前菜が初めて見る盛り合わせ方で工夫があると思いました。

P 地区の方々にはよくして頂き、感謝しております。



ラウンジファンタジー
栗村文恵(1)

J 地区会

新しいビジネスへの挑戦！

- 日時…9月19日(木)
- 会場…御幸鉄工所
- 報告者…(株)御幸鉄工所 佐藤普三氏
- 参加人数…15名



報告者の佐藤氏

J 地区の9月例会は「バブルの経験から、新しいビジネスへの挑戦！〜人との縁を大切に〜」と題して、(株)御幸鉄工所の佐藤普三氏の体験発表でした。佐藤氏は父親が創業した御幸鉄工所に入社し、20代前半にして、職人気質で現場一筋だった父親から「現場以外の事はほぼ全て任される」という状態で、若くして「ほぼ経営者」という貴重な20代を過ごします。その後、平成初期のバブル崩壊を経験。その時に仕事がない事の悲惨さを「経営者」として痛感できた事がその後の工場・設備・人材・情報への投資や考え方に活かされたそうです。佐藤氏の体験発表の前に御幸鉄工所の工場見学を参加者全員で行ったのですが、その際に同

業種の方から「ここは何でも揃つとつて、材料さえあれば何でも作れるな」という印象的な一言があつたように、佐藤氏はバブル崩壊を経験した後、工場敷地の移転・拡張、大型工作機械や先進的な設備の導入、海外人材の積極的な受入と戦力化など自社に活力を与える施策を次々に実行し成果を出して行きます。

そんな施策を実行できたり、思いついたりしたその背景にはいつも「人との縁」がありました。同友会やその他各種団体で知り合った同じ経営者仲間、生産能力増強の際に資金だけでなく知恵も貸してくれた金融機関の方、応援してくださる地域の皆さん。

そんな「人との縁」が象徴的に現れた出来事としてNASAへの装置納入がありました。そう、NASA II アメリカ航空宇宙局です。きっかけは経営者仲間が教えてくれたママが一人で営んでいる飲み屋さんさんに立ち寄った事でした。「福山駅近くの小さな飲み屋さんから宇宙へ繋がる」そんな事があるんですね。

今回の発表で佐藤氏のワクワクとした少年のような表情を見て、佐藤氏が多く「縁」を自



御幸鉄工所を見学

分と自社の社員たち、仕事や地域で関わる仲間たちに「成果」として還元ができた理由が少しわかった気がします。

「人との縁」はただそこにあるものではなく、気づき、作り、育み、感謝する事で、更に大きな縁となつて回ってくるのでしょいか。また例会で佐藤氏と一緒にあった際にはその辺りの事を聴いてみたいと思います。

キラキラとした楽しい発表をありがとうございました！



日本コンピューターシステム(株)
井上敏博

K 地区会

魅力ある人には人が寄ってくる

- 日時…9月13日(金)
- 会場…ローズコム
- 講師…ソニー生命保険(株) 長谷川幸一氏
- 参加者数…15名



講師の長谷川氏

9月13日のK地区例会では、今期テーマ「生き残るため強みを磨こう」を受けて、強みを磨かれているNo.1の方の話を聞こうという運びとなり、ソニー生命保険(株)の長谷川氏を講師にお招きして「なぜ選ばれるのか？」についてご講演いただきました。

長谷川氏は以前JA勤務で、その時に住宅ローン貸付日本一



になられた方です。平均5億のところ、日本一は25億と知り、30億の目標設定を立て、それを成し遂げ、日本一となりました。その後、自分を試したくソニーへ転職。第一線で活躍されています。

そんな長谷川氏の壮絶な話。目標設定・道筋の検証・方法論の確定・実行時間……。トライアンドエラーを繰り返して、精度を高めて続けて行く話をお聴きして、すごいなあ……と感じますが、何よりもその人柄の良さに心奪われてしまいました！テクニクの部分も多くあるのですが、本質は「お客様を好きになる」これこそが選ばれる最大の理由だと感じました。

やはり実践者の話は染み入っ

てきますね!!長谷川さん!ありがとうございました!!

(株)サード 三島 進(K)



P地区会

税理士事務所を創る
税理士眞田好洋の思い

■日時…9月19日(木)

■会場…Rim福山

■報告者…(有)ウイング 眞田好洋氏

■参加者数…21名

9月の例会は、I地区会の合流例会で、税理士の眞田さんに体験発表というより、これからの方針発表という形になりました。というのも福山支部のスローガンである「激変の時代だからこそ、全社一丸の高付加価値企業へ」日々前進日々進化 Let's Challenge」とP地区のスローガン「同友会の意義を認識し、自身の成長に活かそう」から、将来を見据えての発表に、さらに例会を担当するP地区の4グ



報告者の眞田氏

ループの今年度のテーマが「情報」というところからです。

眞田さんは昨年入会されたばかりで、同友会の発表スタイルには疎いところがあり、4回のプレ発表を行っての本番でした。1回目、自己紹介と税理士をめざしたわけだけの発表が、グループの支援?煽り?激励?指導?などなど、更には「同友会をダシに使っていいから、事務所内で話してみてください」を素直に受け、2回目、3回目と回を追うごとに高付加価値税理士事務所をめざして何をしなければならぬのかをよりはっきりさせ、自社の強み、弱みを分析し、経営理念にまとめ、方針を明確にされました。発表はまとまり過ぎて突つくとこ

がないようなものでした。本人も自分の考えがはつきりし、発表の機会を与えてもらったことに感謝したいとのことでした。

4グループのみんなが「よし!」と思っていたと思うのですが、しかし……「あなたの想いを会社経営にどう活かして行こうと思えますか?」という討論テーマに突つ込みが入りました。4回もプレ発表を行い、討論テーマも練りに練って最善と思っていたのに、です。プレ発表で眞田さんにアドバイスしたり、突つ込んだりしている内にグループメンバーのそれぞれが自社を想い、その先をと考えていたからかもしれません。い



ずれにせよ、同友会の例会で自分の在り方を明確化された眞田さん、それに仕向けたメンバー、同友会らしさを感じた例会と例会準備でした。I地区のコメントに「P地区はピーチクパーチクだけじゃなく、ピーンと張っているPかなと思いました」と。

(株)ビジネスソフト社 井上幹雄(P)



S地区会

事業承継は日々の積み重ね

■日時…9月11日(水)

■会場…ローズコム

■報告者…(株)タインシ広美社 立石克昭氏、立石良典氏

■参加者数…20名

同友会に入会して24年、立石克昭さんは目標にしている方です。

経営する喜び、構え、いろんなこと感じ取らせて頂いております。経営者、経営者でない方、人として家族円満で心豊かでないと会社で人の気持ちがあ



会社への想いを語る会長と社長

小林自動車

小林弘文(S)

かり、他の方にもつながり廻りに集まってこれられ、事業継承も日々の積み重ねでいい環境になられたんだと思います。

克昭さん、良典さんも昔のガッツな境遇が今生かされてると思います。日々、報連相意識し、一日一日頑張っています。



青年部だより



経営者としての姿勢を正す
自分を見つめる禅体験

■日時…9月7日(土)
■会場…神勝禅寺
■参加者数…22名

青年部の今期テーマである「姿勢の確立」の思想・観念を具体的な形で身を持って現したい！と考え企画した青年部の9月例会「禅体験」。

まずはじめに、禅道場にて参加者全員で写経を読み、禅が始まる前の心構えをしました。普段、なじみのない般若心経を読むことで、不思議と背筋が伸び、途端に禅の世界に入り込みました。

読み終えたのち移動し、今回のメインである「禅」に入りました。住職様の説教、禅の意図などお聞きし禅に入ります。

「無」「考えない」「頭をゼロに」し、物事を俯瞰して考える。日常様々な事象が起こる経営



禅体験

者。従業員の事、家族の事、売り上げの事、支払い、今起こっている問題など、眠っている時も会社の事を考えている私たちにとって意識して何も考えない事なんて今まであったでしょうか？

いざ、足、手を組み、目を瞑らない程度に開き、各々無の世界へ入りますが、これが難しく考えない事を考えてしまう・・・数字を10まで心で数えると良いと言われたが10まで数える前に考えてしまう・・・考えないという難しさを肌で感じました。

しかし、騒音の無い鳥や虫の声など静寂な自然の中で行ううちに幽体離脱でもしたかのよう

に、意識的に宙から自分を覗いている自分に気がつきました。今行っている行動、問題、もがく姿を見て(あくまでも頭のイメージですが)、自分は本当にこれでいいのか？他にやるべき事があるのではないか、優先順位が逆なのでは、など客観視し、自分が思っていた大きな問題は実は小さく、ないがしろにしていた事が大切な事なのでは？会社をはじめた時の思いを忘れていたのでは・・・など、終わった後の本当に大切な何かを見つめ、絡まっていた糸が少しほどけている事に気がつきました。

(その後、皆で昼食(うどん)を食べながらの会食で交流し、写経で精神を統一する盛りだくさんの内容でした)

同友会で体験報告やグループ討論、講師例会や諸先輩方の考えなど、様々な学びをさせてもらっていますが、今回の禅例会は自身と向き合う事で「感じ」、「腑に落とし」、改めて「経営者としての姿勢を正す」きっかけとなる、いつもとは違った見方の学びとなったのではないかと思います。

最後に早朝にもかかわらず22名という多くの方に参加頂けた事うれしく思っております。学びの型は少ないより多い方



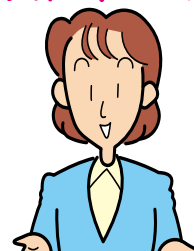
神勝禅寺にて

がよいと思います。多面的学び、より成長できる場を「偏らない、とらわれない気持ちで」皆で作っていただくと思っています。



office Y i p l u s
神原浩二(E)

女性部だより



キャッシュレス決済を学び
今後の対応方法を見極める

■日時…9月13日(金)

■会場…事務局

■講師…広島信用金庫 大前明紀美氏

■参加者数…9名

女性部9月例会は広島信用金庫の大前明紀美様を講師にお招きしご講演いただきました。

まず、世界そして我が国におけるキャッシュレス状況についてお話いただきました。キャッシュレス決済比率が進展している国で40〜60%台に到達する中、日本は18.4%という結果に。さらに日本は一人あたり7.7枚のカードを保有しており、世界的に見ても現金以外の支払い手段を多種・多数保有しているにもかかわらず普及していないというデータもありました。普及しにくい理由として現金を好む国民性が影響してい



講師の大前氏

るそうです。

キャッシュレス化の必要性として、①現金決済インフラを維持するため年間約1.6兆円を超える直接コストが発生、②利便性の悪さから訪日外国人(インバウンド)減少の懸念、③少子高齢化や労働人口減少が進む中、無人化・省力化、④支払データの利活用による利便性向上や消費活性化等の効果、⑤支払サービス分野において日本企業が遅れてしまう危機感など、政府がキャッシュレスを推し進めている理由が理解できました。

キャッシュレス決済は、クレジットカード、プリペイド・デビットカード、QR決済、電子マネーなど種類も多いのですがそれぞれの特徴についてわかりやすくご説明いただきました。キャッシュレス・消費者還元事

業における平成31年度予算案は2798億円。2025年までに比率40%を目標に掲げているそうです。「人手不足」「競合との差別化」のため、今後はIT機器を活用した対応が必要で、QR決済サービス導入に加えてiPadやクラウドを利用し生産性向上を図る努力が事業者側に求められているのだと知りました。時代の変化に適応しなくてはならない、それは「今」なのだと痛感しました。

次回10月女性部例会もキャッシュレス決済について学ぶPart2を企画しておりますので、皆様ぜひご参加



(株)渡辺保険事務所 田口祐子(D)

委員会だより



経営労働委員会

基本のキ!

経営理念策定講座②

■日時…9月5日(水)
■会場…Rim福山
■参加者数…32名

この度の経営労働委員会主催「基本のキ!経営理念策定講座」では、経営理念の作成について学びました。前講座にて(株)テイシ広美社代表取締役会長の立石克昭氏より経営理念について学び、経営理念検討シートを作成した上で実際に経営理念を作成し、グループ内でプレ発表を行いました。

グループ内でのプレ発表では、まず、経営理念検討シートを作成するに当たって、会社業務、社員への想いを言葉で表現する難しさを感じると共に、



経営理念について話す水戸上氏

経営者として、本来の仕事への熱意を改めて実感出来る討論が繰り広げられました。

また、実際に自分で作成した経営理念がどれほどに自分の腹に落ちるか、そして社員に届くかについて話し合い、ダイレクトでわかりやすい経営理念を作成する方法についても討論を重ね、より一層シンプルで深い経営理念を作成したいという思いが募りました。今回の討論を活かして、個々の会社により発展し、活気的な職場となるような経営理念が出来上がるのではないかと思います。



Reaio 森 優子(E)



グループ討論で理念について深めます

18名が発表 できたぞ！
わが社の経営理念

■日時…9月30日(月)
■会場…Rim福山
■参加者数…27名

東部エリアの経営労働委員会では、経営指針成文化と実践のための勉強会を1年かけて開催しています。最終講(来月3月)はできた経営指針の発表会を行う予定です。



一人ひとりが作った理念を発表

さて、8月から3回シリーズで行われた経営理念編。第3回の今回は、経営理念の発表会でした。当日は、経営理念を新しく作成された方と、見直しをされた方合わせて18名の方が発表



しました。

発表会では、「地域貢献の大事さに気がついた」「自社の経営理念に真摯に向き合えた」「変わらなげや。変えていかなげや」「社員に伝えらるゝかっこええな」。嬉しかつた」「後継者として社長に見せてきた」「腹に落ちた」など、熱のこもつた発表が続きました。

閉会あいさつでは、河村支部長が、「ここからがスタート。つづつた経営理念に魂を入れるのは経営者自身。つづつた理念に誇りと希望を込めて社員に伝えよう」としました。

できた経営理念をもとに経営をされた皆さんの1年後はどう変わるのか、楽しみです。

(文責 事務局 井谷)

環境経営委員会

SDGsアクションカード
ゲームをやってみよう

■日時…9月9日(月)
■会場…事務局
■参加者数…7名

SDGs (持続可能な開発目



経営理念を掲げて記念撮影

標)とは、国連が定めた17のゴール(その下に169の具体策と232の指標で構成される)です。そして、2016年から2030年までに貧困や飢餓、気候変動、平和的社会など、持続可能な開発のために国連加盟するすべての国は目標達成をめざすことを同意しています。

この度の委員会では、そのSDGsを楽しみながら学ぶことを目的に開発された「THE SDGs アクションカードゲーム X (クロス)」をやってみました。参加者からは、「考える力が養える。子どもから大人まで一緒に学べる。会社でやってみたい」「問題「解決」能力育成。新しい仕事づくりへの「開発」。カードゲームを通して「改善」提案。そしてプレゼン能力の向上などが楽しく学べる」などの感想が出ました。



カードを使って学びます

地域内連携推進委員会

福山城築城400年記念事業

■日時…9月24日(月)
■会場…Rim福山
■講師…福山市役所 築城400年事業推進担当課長 渡邊真悟 氏
■参加者数…16名

最後に豊田副支部長より自分と自社はSDGsの何に取り組みますか?と問いかけがあり、「今日のゲームをヒントに新しい仕事を生み出すことにもつながるかもしれません。色々なことを試しながら会社を良くしていきたいと思います」とまとめました。

(文責 事務局 長谷部)





講師の渡邊氏

2022年に福山城が築城400年を迎えるにあたり、福山市では築城400年記念事業が進められています。記念事業の目的は、福山城築城400年を契機として、先人の歩みや大切にしていた思いを、あらためて振り返り、市民の心を一つにする機会とすること。さらに、福山城をはじめ、市全体の歴史・文化資源等の価値を再認識し、磨き上げ、その魅力を市内外に発信することで、「城があるまち福山」を市民全体の誇りとする 것입니다。

実は今年2019年は初代藩主水野勝成が入封して400年の都市でもあります。イベントは鞆・神辺・新市・沼隈など各地で開催される予定で、福山城も2022年に向けて夜間景観照明の整備をされているとのこと。



(文責 事務局 長谷部)

勉強会・有志の会



ダイヤモンドクラブ

我社の経営と課題Vol.2

■日時：10月1日(火)

■会場：大下木型製作所

■報告者：福山うみしま観光(株)

丹下 工 氏、(有)シャルダン

商会 藤田哲也 氏

■参加者数：7名

10月1日、大下木型製作所にてテーマ「わが社の経営と課題Vol.2」と題して、福山うみしま観光(株)の丹下さん、(有)シャルダン商会の藤田さんに例会報告いただきました。

一年前の発表からこの一年どのような成果、課題が出たかの報告です。

まず丹下さんの報告では、最近、去年働いたスタッフから呼び出しを受けて、今年もがんばるぞとミニ決起会をされたそうです。かき小屋は約半年の営業ですので、そのスタッフの方たちは空いている半年の期間「冬はかき小屋で働くので空いている期間だけ、働けるところを探す」「空いている半年は留学をして勉強する」などかき小屋を中心とした生活をされていると事でした。

このようなスタッフにするためどう育てるのか？いろいろなしくみを報告いただきました。一番感じたのは、あるがままを受け入れ、それを解決するためはどうするか経営者は死に物狂

いで考えるということです。

例えばですが、あいさつの出来ないスタッフにあいさつをしる教育をするのではなく、スタッフが会話をする必要がないしくみを考えるということでした。この考え方は勉強になりました。

次に藤田さんは、運送業界の取り巻く流れで、人材不足、働き方改革への取り組みを報告いただきました。社員さんに「楽をすることは悪いことではない」と常に話しているということでした。楽になるということとは皆さんで工夫して効率がよくなるという事ですからね。この言葉はいただきましたという会員さんが何人かいました。

経営者の想いを常に個人面談を中心に語りかけ、意見のしやすい環境をつくる。意見の相違があればとことん話をする。納得しない動きと納得した動きは全然効率が違う。この考え方も勉強になりました。違う場合は、とことん話すことが大事です。

お二人のお話の共通点は「働きやすいしくみづくり」でした。今後の企業経営の大きなキーワードですね。

丹下さんは11月29日からrim福山屋上で2号店をオープンされます。ぜひ皆様行かれて

おいしいかきをご堪能ください。

(有)大下木型製作所 大下真司(P)



入会しました

8月2日の「入会式(新会員オリエンテーション)」に参加頂いた方に自己紹介いただきました。

協同精機(株)

総務部長

鍵野貴子(B)



協同精機(株)の鍵野貴子と申します。当社は、粉末状の塗料で

塗装をする粉体塗装、専門企業です。私は近い将来、事業を継承する予定ですが、経営者としての姿勢や考え方など確固としたものが確立できていません。様々な勉強会を通じて学びたいと思います。



士(サム)が斬る!

●はじめに

建設業に関して見逃せないシステムの運用が始まっています。その名も、「建設キャリアアップシステム」です。

●建設業の課題

建設業は他産業と比較して高齢者が多い産業構造となっており、近い将来、高齢者の大量引退が見込まれることから、将来の建設業を支える担い手の確保が喫緊の課題となっています。

●建設キャリアアップシステムとは
技能者の資格、社会保険状況、現場の就業履歴等を業界横断的に登録。蓄積する仕組みです。

建設キャリアアップシステムの活用により技能者が能力や経験に応じた処遇を受けられる環境を整備し、将来にわたる建設業の担い手を確保します。

●システム構築の流れと目標

平成31年1月に限定運用を開始し、平成31年4月に本運用を開始しています。運用開始初年度で100万人の技能者の登録、5年で全ての技能者の登録を目標としています。

●事業者にとつてのメリットや必要性
技能者を保護するシステムで

すが、事業者にとつてもメリットや必要性があります。まず、技能者(従業員)の就業状況が容易に確認できます。現場の入場管理が効率化されます。

さらに、経営事項審査において加点要素となる可能性について。山梨県が県土整備部発注の土木一式工事を対象に、建設キャリアアップシステムの活用に取り組んでいる企業を評価する全国で初の取り組みを行っています(建設工業新聞9月3日より)。

また、建設業分野における外国人の受け入れ基準について「建設キャリアアップシステムに登録していること」という要件が必要になる予定です。

上記より、建設業キャリアアップシステムの登録をしていない事業者様・技能者様は現場の入場や、公共工事の入札関連で出遅れる可能性も考えられますので、早々に登録することをお勧めいたします。



赤崎行政書士事務所

赤崎元昭(S)

福大インターンシップ

同友会事務局で福山大学のインターンシップを受け入れ、白幡さん、高橋さんと(株)サンモルトを訪問しました。その記事を掲載します。

サンモルトは昭和24年に創業され、今年5月に創業70周年を迎えたそうです。祖父が創業され、現在3代目の代表として頑張っておられました。現在の事業は住宅リフォームや水回りリフォーム、不動産業、ペレットストーブ販売施工などで活躍されています。

経営をする上で、大切なことは、「経営者と社員が同じ方向を向いていること」と仰っていた小川氏、これは空き家再生プロジェクトが関係していると感じました。お客様と一緒に空き家をリフォームしていく、一人一人が違う方向を向いていると会社本来の力も出ないが、それ以上に社員やお客様が不安になるだけです。社員一同が同じ方向、同じ目的を持つていることで、本来の力が発揮されていくのです。

今現在は、過疎化に伴い地元「軀」だけでは商圏に限りがあるようです。現代の子供は火とかかわりが少なくなってきたおり、火の危なさを知らないことが多いため、使い方や火のいい面、悪い面を教えていく「火育」や、同友会の方との月に一度行う「軽トラ市」という朝市などで軀に知名度を

かり植え付け、少しずつ活動範囲を広げていくとのことです。自己利益だけでなく他との共有することが、これからの中小企業が発展していくコツだと思いました。

最後に、自分が思っている中小企業のイメージは、経営者の方が「やる」といったことに従う社員のイメージで、皆が違う方向に向かっていくものだと思うっていました。ですが、訪問させていただいた小川氏は皆が同じ方向に向かって地域発展や会社経営を頑張っているらしいのでとても凄いと感じました。(記 白幡 直也)



(株)サンモルトは、プロパンガスの販売を始め、住宅リフォームやペレットストーブという新しい木製燃料を用いるストーブの販売など多彩に活躍されている会社です。また、空き家再生プロジェクトという、空き家をリフォームすることで新しい可能性を持たせた場所にする活動もされています。現在軀の浦では人口減少に伴って、放置された空き家が増えているという問題もあり、この空き家再生プロジェクトは

注目されています。

「私たちは仕事を通じて地元の役に立ちたい」と仰っていた小川さん。それは、人が増えれば軀の浦が元気になる。その役を担いたい。そして子どもたちに誇れるような仕事をしたんだ、という熱い思いからでした。実際に空き家再生プロジェクトを始め、地元の小学生を対象に火についての授業を行うなど通じて地元貢献されています。

また、小川さんは同友会のメンバーと共に、軽トラ市という活動もされています。この軽トラ市は月に一度沼名前神社にて開催される、朝市です。一般の朝市と違い、軽トラでブースを出せるため手軽に参加することが出来ます。憩いの場として地域の大切なイベントになっています。

「地域に目を向けていくことは、会社経営の一つの表れとして会社の存在価値やイメージアップにも繋がっていきます」と小川さん。環境や状況が次々に変わりゆく時代で中小企業だからこそ地元へ寄り添い、そしてお互いに支え合うことができるのではないのでしょうか。小川さんは「相手に打ち明けてほしいれば自己開示していくことが大事」と仰っていました。私は、この考えがあったからこそ、地元へ寄り添い支えていくことが出来たのだと思います。まず自分たちから開示し、地元へ寄り添おうとする姿勢を示すことで地元の方に受け入れてもらうことが出来るのです。(記 高橋 良佳)

第5回 福山支部理事会報告

2019年9月25日（出席者28／30）

【障害者問題全国交流会 in 滋賀 参加呼びかけ】

大植県障害者問題委員長より、障全交への参加呼びかけがありました。

【経営実践報告】

※谷野組織委員長と掛江企画委員長から経営実践報告があり、その後質疑応答を行いました。詳細は割愛します。

【報告・連絡】

■委員会・部会関係

①総務委員会

10月28日の全地区合同役員会では、立神副支部長に問題提起いただきます。

②組織委員会

全小組からの委員会への参加をお願いします。

11月支部例会は、各小組でオグザバー1名の参加を達成します。

11月1日に新会員オリエンテーションを開催します。

③企画委員会

11月支部例会は㈱イベント21代表取締役の中野愛一郎氏（奈良）に社員教育のテーマでご報告いただきます。

経営者大賞の候補者を各地区会から1名のエントリーをお願いします。〆切は11月末です。

④広報委員会

委員会への全地区からの参加をお願いします。原稿提出締め切りは月末厳守でお願いします。

8月のeido youの活用率が51・7%でした。目標の55%を継続して達成していくためにぜひ活用をしてください。

⑤経営労働委員会

活動費が予算内に収まりそうです。

10月からは財務の勉強会を行います。11月は経営分析、12月は経営指針ワンシートを使った財務勉強会、1月は10年ビジョン、2月は勉強会。3月は発表会を予定しています。

⑥求人社員教育委員会

10月18日に学校との懇談会を

開催します。

11月15日女性社員向けセミナーを開催します。

⑦政策環境委員会

11月5日にひろぎん経済研究所の方をお呼びして、情勢の勉強会を開催します。

⑧青年部会

10月29日に岡山同友会青年部との合同例会を開催します。福山からは徳毛レジンの徳毛氏が報告します。

■県関係の報告

①県理事会の報告

来年の女全交は新潟で開催となります。

11月28日・29日に社員教育活動全国交流会が岡山にて開催されます。

県全体で、8月に入会21名、退会9名、会勢2650名になりました。

支部活動費の見直しと繰越金の扱いについての規定が提案されています。

会員名簿を廃止しアプリ化することが承認されました。

■その他

①福山平成大学との合同事業について

全7回の講座が終了しました。今後も連携の道を探っていきます。コラボ事業など提案があればご連絡ください。

②役員選考委員会について

豊田総務委員長、谷野組織委員長、島田政策環境委員長、藤井環境経営委員長、森川B地区会長、目黒E地区会長、立神副支部長の7名をメンバーとします。

↓承認されました。

③役員選考基準の確認

※役員選考基準の確認を行いました。

④総会議案作成特別委員会&中期ビジョン作成委員会について

掛江企画委員長、坂本広報委員長、松本A地区会長、藤井J地区会長、川島副支部長の5名をメンバーとします。

↓承認されました。

⑤3月の支部理事会について

定例日から日程を変更して、3月26日に春日の都にて増強達成パーティーを開催します。ぜひ支部理事全員が増強を達成して、皆で祝いましょう。

【承認事項】

■入退会の承認

【入会希望】 4名

ジェイプランニング㈱

代表取締役 柴田順一(D)

(同)NACOSE

ディレクター 中ノ瀬大介(F)

(旬)石の店 沖

(後継者)沖 聖人(S)

中洲社会保険労務士事務所

所長 中洲洋輔(S)

【退会希望】 5名

(㈱)東進

専務取締役 下井能行(B)

(㈱)仲心電設

代表取締役 工藤将大(E)

(㈱)フセパーツ

代表取締役 布施茂雄(E)

(㈱)木匠

代表取締役 山崎信之(F)

福山名和運輸(株)

代表取締役 中尾研聖(S)

※以上、承認されました。これにより福山支部会員数は650名となりました。

(文責 事務局 長谷部)

11 月行事案内

日	曜	全体行事	委員会・部会	地区会、他
1	金	新会員オリテ	組織	
2	土			事務局会議
3	日			
4	月			
5	火	政策勉強会	政策環境	
6	水		企画	
7	木	財務勉強会	経営労働	
8	金		環境経営	S
9	土	役員研修大学		
10	日			
11	月		青年部	K
12	火		求人社員教育	
13	水	支部例会		
14	木			
15	金	女性社員研修		A
16	土	ひろしま指針塾		
17	日			
18	月	県理事会		
19	火		女性部会	E・I ダイヤ
20	水			D、F、G
21	木			B・J・P
22	金			
23	土			
24	日			
25	月		総務	
26	火		広報	
27	水	支部理事会		
28	木	社員教育活動全国交流会 in 岡山		
29	金	//		
30	土			

総務

日時：11 月 25 日（月）19 時 00 分開会
会場：事務局 会費：無料
議題：合同役員会の振り返り
予算執行状況の確認
活動の手引きの再編について

組織

日時：11 月 1 日（金）18 時 00 分開会
会場：Rim 福山 会費：無料
議題：仲間づくりの進捗状況
11 月支部例会について
新会員オリエンテーションについて

企画

日時：11 月 6 日（水）19 時 00 分開会
会場：事務局 会費：無料
議題：11 月支部例会の打ち合わせ
新春講演会・新年互礼会の企画
経営者大賞について 他

広報

日時：11 月 26 日（火）19 時 00 分開会
会場：事務局 会費：無料
議題：支部報 11 月号の総括
支部報 12 ～ 2 が都合の企画編集

【11 月支部例会】

みんなで力をあわせて
夢をかなえる会社
～ you happy, we happy !
あなたが幸せなら私達も幸せ～

日時：11 月 13 日（水）18 時 30 分開会
会場：福山ニューキャッスルホテル
会費：無料
報告者：(株) イベント 21 代表取締役
中野愛一郎氏（奈良 / 中同協青年部連協会長）

全体行事

報告者の(株)イベント 21 の中野氏は、父親の突然の死去に伴い、26 歳で入社。そして 3 年後の社長就任時に、経営理念「you happy, we happy !」を発表します。
同社の大きな特徴の一つが、社員みんなが力を合わせて、三方良しと物心両面の幸せの実現に取り組んでいることです。仕事にやりがいを持ち、社会に役立っていることを実感し、自分も成長できる。そんな社員が増えることで、会社も発展を遂げ、事業継承時に 1 億だった売上も、2018 年度には 15 億にまで伸びてきました。
全員が全員の意見を聞く社風があるという(株)イベント 21。社長の中野氏は、どのように社員が育つ環境を作ってきたのか。報告とグループ討論を通して、人を生かす経営と社員が幸せを感じる企業づくりについて考えていきます。

オブザーバー大歓迎！
お知り合いの経営者をぜひ、お願いの上、ご参加ください。

A 地区会

【経営指針成文化と実践の勉強会 第 2 弾】
～外部環境と自社分析とは～
日時：11 月 15 日（金）19 時 00 分開会
会場：市民参画センター 会費：無料
外部環境と自社分析について深めていき、1 人でも多くの会員さんが経営指針の作成と実践ができるきっかけとします。

B 地区会

【気持ちの楽な方が事業も上手くいく】
～楽しく生きてしっかり稼ごう！～
日時：11 月 21 日（木）19 時開会
会場：市民参画センター 会費：無料
報告者：(株) シンユ 代表取締役 北村 進氏
独自の発想とオンラインの商材の開発という経営システムを構築してきた北村氏の体験報告です。

D 地区会

【いい職場環境は社員の声から】
～社員面談の必要性～
日時：11 月 20 日（水）19 時開会
会場：市民参画センター 会費：無料
報告者：映くら(株) 代表取締役 山西健三氏
映くら株の山西氏に、社員面談の必要性について。

E 地区会

【想いは実現化する】
～映画ファンガシアターを開館させた奇跡～
日時：11 月 19 日（火）19 時開会
会場：同友会事務局 会費：無料
報告者：NPO 法人シネマ尾道 代表理事 河本清順氏
尾道唯一の映画館が開館。その映画館を再建させた河本氏が経営を続けてこられた原点は「想い」でした。

F 地区会

【「青年部と考える自己・自社の未来」
～入りたいけど入れない青年部と考える会社の未来～
日時：11 月 20 日（水）19 時開会
会場：Rim 福山 会費：無料
報告者：F 地区第 1 グループ
青年部会員の沖氏の報告、新旧青年部と F 地区会員のパネルディスカッションから経営のヒントを考えます。

G 地区会

【これからの外国人労働者人財との共生について】
日時：11 月 20 日（水）19 時開会
会場：市民参画センター 会費：無料
報告者：ワールドネット裡共同組合 木元英治氏
外国人労働者の新在留制度を正しく理解し、今後の自社の採用戦略に活かします。

I 地区会

【基本のキ！経営戦略基礎講座】
～自社の現状分析 (SWOT 分析) ～
日時：11 月 19 日（火）19 時開会
会場：西部市民センター 会費：500 円
報告者：参加者全員
東部エリア経営労働委員会の勉強会「自社の現状分析」を行い、各社の現状分析のきっかけとします。

経営労働

【決算書の読み方講座】
～財務の勉強会② PL 編～
日時：11 月 7 日（木）19 時 00 分開会
会場：Rim 福山 会費：無料
講師：桑田三秀税理士事務所 桑田三秀氏
※ 18:30 から同会場にて委員会を開催します

求人社員教育

日時：11 月 12 日（火）19 時 00 分開会
会場：事務局 会費：無料
議題：次年度の共同求人活動の計画
女性社員研修・中堅社員研修の企画
今後の活動について

政策環境

【2019 年度の経済見通し Part II】
日時：11 月 5 日（火）18 時 30 分開会
会場：事務局 会費：無料
講師：(財) ひろぎん経済研究所 理事 河野 晋氏
※勉強会終了後に委員会を開催します

J 地区会

【今の立場と立ち位置】
～見つめ直し振り返った先から創る未来～
日時：11 月 21 日（木）19 時開会
会場：市民参画センター 会費：無料
報告者：(株) ターナルカーサービス 住吉謙一郎氏

K 地区会

【生きるために必要な最高のコミュニケーションのつくりかた】
日時：11 月 11 日（月）19 時開会
会場：ローズコム 会費：無料
報告者：インターナショナルエアガミーズ 広島 希美氏
航空業界に毎年合格者を出す秘訣から、経営のヒントをいただきます。

P 地区会

【あなたにとっての時間】
～時間を制するものは、仕事を制す！～
日時：11 月 21 日（木）19 時開会
会場：同友会事務局 会費：無料
報告者：P 地区 2 グループメンバー
日々の時間の作り方や優先順位、仕組みづくりなどを共有し、今後の同友会活動や経営に活かします。

S 地区会

【経営者大賞候補者発表会 一泊例会】
日時：11 月 8 日（金）18 時 30 分開会
会場：光信寺の湯ゆくら 会費：10,000 円（予定）
報告者：S 地区 経営者大賞候補者
S 地区の各グループ 1 名による発表を行い、S 地区経営者大賞の代表を選出いたします。

青年部

【卒業までに俺がする事】
～青年部の関わりからの変化～
日時：11 月 11 日（月）19 時開会
会場：市民参画センター 会費：無料
報告者：靴工房 白牡丹 高田寛之氏
青年部活動を会社に活かし、変化し続けている高田氏に今後の目標や夢などを語ってもらいます。

女性部

【企業訪問例会】
日時：11 月 19 日（火）19 時 00 分開会
会場：シンベル 会費：無料
報告者：シンベル 中原鈴子氏
女性部会員であるシンベルの中原さんの企業訪問を行います。

有志の勉強会

【ダイヤモンドクラブ】
～我社の経営と問題点～
日時：11 月 19 日（火）19 時開会
会場：広島金具製作所 会費：無料
報告者：(有)広島金具製作所 水ノ上貴史氏
自社の経営と問題点を発表し、その後全員で討論します。

バリアフリー

今月はお休みです

環境経営

日時：11 月 8 日（金）19 時開会
会場：事務局 会費：無料
議題：県の環境経営問題アンケートを見よう
今後の勉強会の企画立案

地域内連携推進

※調整中。決定次第ご連絡します。